



今私達は、「新型コロナウイルス感染症」の拡大により、今までの日常と、違った生活を強いられています。市民活動においても新しい生活様式を求められ、色々苦慮しながら活動している事と思います。そこで、この状況の中での実施した活動を募集したところ、沢山の団体より投稿していただいたので、今回は「コロナに負けるな！特別号」を発行いたします。

### 特定非営利活動法人八千代オイコス

<米づくり体験>一般公募35名の参加申し込みがあり、野外でもあり実施を検討したが、感染が拡大する時期と重なり止む無く中止。<川の学校 in 花輪川>小中校休校の為中止。<春のエコウオーキング>大和田機場桜祭りにジョイントして計画をしたが、公的イベント中止の為、参加申し込み者がありました。中止。以上の環境の中でも\*オイコスの基本活動である花輪川整備は消毒・マスク着用で毎月実施。米づくり体験は中止としたが、谷津の保全と田んぼの養生の為、オイコス有志のみで農機の助けも借りながら行い、9月中旬、収穫にこぎつけた。\*夏の一夜、ホテル鑑賞の夕べを市民参加者40名と共に、幻想的なホテルの光のページェントを楽しんだ。\*秋のエコウオークは10/25 実施に向けて準備中。\*11月、緑化公社からパンジー花苗頒布で花輪川花壇の整備と植栽を行う。散歩される市民の皆さんから声をかけられ、励みとなる。今後は、多年草・宿根草・球根類も計画中。コロナウイルス禍でのこれからの数年、正しく怖れ、工夫しながらの活動になりますが、知恵を絞って

乗り切る所存です。 事務局小林 和幸

小さな命の輝き、やさしく  
子供の心に届きました。



### エコライフやちよ

コミュニケーションは Messenger のグループチャットを活用して、イベントの企画・段取り・記録を共有し、ミーティングはZoomでお互いの顔を見ながら仲良い相談に使っています。「気候変動の説明」「自然エネルギーの普及啓発」として、「親子で参加できる子ども科学教室」を開催しました。気候変動が深刻になっていることとお話してから、ソーラー工作や自転車・太陽光発電の体験を通して環境を考え大切にすることを学んでいただきました。

- 7月25日：市民会館・ベランダ発電プロジェクトお話し
- 8月 3日：村上公民館・夏休み講座
- 8月 8日：高津公民館・夏休み講座
- 8月 9日10日：オーエンス八千代市民ギャラリー：親子で学ぶエコ・科学工作教室
- 8月12日：幕張ハウジング・夏休み講座
- 8月15日：八千代台東南公民館・夏休み環境工作教室

事務局 土元 裕一



### 八千代ケアマネ・ネットワーク

『やちよケアマネ・ネットワーク』は、八千代市内における質の高いケアマネジメントの実現のため、ケアマネジャーの資質向上等を図るとともに、豊かな地域社会の創造に寄与することを目的とし、会報誌の発行や研修会、民生委員や地域医療との連携交流会等を通年行ってきたのですが、コロナ禍においては困難であり、現在はオンラインでの研修会情報等を会員に提供するに留まっております。現在『八千代市内で活動している介護タクシー・移送サービス』についての情報収集を行っている最中となっておりますが、やはりこのコロナ禍において情報収集方法はFAX やメール等、対面を必要としない方法で行っております。『新しい生活様式』の中で、今後どのような形で会を運営して行くのが良いのか右往左往している状況では御座いますが、会員である市内ケアマネジャーに対し有益な情報を提供することは、当会理念にもある豊かな地域社会の創造に寄与する。しいては、八千代市における『地域包括ケアシステムの構築』、『地域共生社会の実現』に繋がると信じ今後も活動を継続してまいりたいと考えております。

会長 白濱 徳之

## 「本だいすき！」の会

私達「本 だいすき！」の会、令和2年度の活動は、過日行われました。7月定例会におきまして、令和3年3月まで外部に対する読み聞かせ活動は休止ということに決定いたしました。新型コロナウイルスの感染状況を見守りながら、このコロナ禍の中で何とか活動出来る方法はないかと考えてまいりましたが、対面で行う読み聞かせ活動にはどうしても感染拡大のリスクがあり、会員及び活動先様の安心・安全を考え、大変残念ではございますが休止とさせて頂きました。その間来年3月まで、毎月の定例会を会員の研修会とし、会員の読み聞かせ力の向上をはかる事といたします。令和3年度には新型コロナウイルス感染症が終息し、また読み聞かせ活動が再開出来る事を会員一同、願っています。事務局 池田 温子

## ボランティアセンター

コロナ禍による外出自粛を受け、今まで行っていた活動が出来ず、どうしてよいかわからない…と不安を感じた団体も多かったのではないのでしょうか？私共、社会福祉協議会や支会・ボランティア団体も例外ではなく、どのような活動ができるのか？必要なのか考える時間となった事は言うまでもありません。そんな中、永年にわたり活動を行っている食事サービスグループ(市内7か所で活動中)では『こんな時こそ支え合い活動が必要！』と利用者さんへの電話連絡や見守り活動・訪問活動を実施していただきました。また、月に1度の訪問日には、手作りのお弁当は届けられませんでした。地域のお店のお弁当や日持ちするお菓子等を持参し、声掛け・安否確認に取り組んでいます。利用者の皆さんからは、『月に1度でもいつもの顔を見られてほっとした』とのお声をいただき、孤独な自粛生活に“ほっとした気持ち”を届けていただきました。現在、新しい生活様式の中で今まで通りとは行きませんが、それぞれの団体が各々“今、出来る事”を考え活動しています。八千代市ボランティアセンターでは、今後も各団体の活動を大切に、皆様のお声を繋げていきます。八千代市ボランティアセンター:047-483-3021 八巻裕美



## 新川千本桜の会

私たち、新川千本桜の会は新川両岸に植栽された桜並木の生育環境保全活動を行っています。その成果として市民各位のご支援をいただき開催していました「新川千本桜かわづ桜まつり」を本年はコロナ禍により残念ながら中止といたしました。私たちのモチベーションの源泉である「桜まつり」の中止は大変ショックでしたが桜はコロナに負けずしっかりと開花し大勢の皆様を楽しませてくれました。会としての活動は3月初めの補植・清掃作業をもって6月20日まで自粛、中断しました。しかし、この間も雑草の伸びは激しく若木や遊歩道を覆う状況となりこれを放置できず自己責任で草刈りを行うメンバーもありました。私たちの活動場所は屋外であり作業に際しては一人一人の距離を適切に保つこととして根回りの草刈り、植込みの手入れ、ゴミ収集活動を再開しています。会全員による次の活動日は11月29日(日)で農業交流センターに午前9時集合です。作業は平戸橋～城橋間のゴミ収集を行う予定です。今では会員も高齢化し出来る作業も限定される状況にあります。是非多くの皆さんの活動への参加をお願い申し上げます。(連絡先:090-8848-1160 萩原)



## 八千代市芸術文化協会

美術展の準備中ですが、コロナ禍もあり現状遅れ気味です。市民文化祭中止により教育委員会との共催がなくなり会の自主的企画となりました。会員の高齢化もあり昨年通りとは行きませんが安全に配慮すればこれまで通りを逐一検討する必要があり改めて考えさせられます。

市内のイベントが数少なくなり展覧会ぐらいは開催したいとこれまで以上に市や業者の方々の理解とご協力をいただき進めています。 福永 巨



### 第40回

### 八千代市芸文協美術展

日時：11月1日(日)  
～8日(日)  
10時～5時  
2日(月) 休館

場所：オーエンス八千代  
市民ギャラリー  
<入場 無料>

## 八千代市テニス協会

今年度における八千代市テニス協会としての活動は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により参加者運営スタッフの安心安全を最優先に考えた結果、残念ながら市民大会・テニス教室等の行事は全て中止となりました。昨年行われました県民大会では、八千代市テニス協会率いる「チーム八千代」が見事優勝を果たし、全日本都市対抗戦への切符を手にする事が出来ました。協会発足以来初の快挙で、三重県で開催される全日本都市対抗戦出場に向けての準備も整えておりましたが、コロナウィルスの全国的な感染症拡大により7月開催の予定が延期となり、先の見通せない状況になりました。しかし先日、12月開催との知らせを頂き、コロナ禍においても、明るい話題をお届け出来るよう大会入賞を目標に掲げ意気込んでいます。今後の協会主催の行事に関しては、開催を希望する市民の方の声にお応えする為に、徹底したコロナウィルス感染防止策を講じながら、理事一同案を出し合い、来年度再開に向けて奮闘して参ります。



八千代市テニス協会理事長 秋葉 拓也

## よつぼクラブ

本年度は、コロナ禍の中での活動スタートとなりましたが、3密を避けながらいくつかの活動をさせて頂いております。活動の中心拠点としていた福祉センターは、使用中止となっていたため、前期については、大幅に活動減少となっています。その中において、6月にガキ大将の森での「ベーゴマ教室」、七夕に向けてのステップ21や、大和田小学校への竹笹の制作と提供作業の実施。又、6～9月に応援活動としての幼児を対象とした「おひさまサロン」への協力、支援を実施しています。「おひさまサロン」については、室内で実施のため、マスク着用・換気・手洗い・消毒・人数制限等に十分気をつけながら実施をしています。従来から実施してきた介護施設や、学童、こども会等での活動も全て催事やボランティアが中止となっており、不透明な状態がこれからも暫くは続いていくものと思われま。従って、しばらくの間は、屋外での活動に重点をおいて、進めていきたいと思っております。

星川



## 八千代ごみゼロの会

夏休みに小学生対象の環境講座「ソーラークッカーを作ってソーラークッキングに挑戦！」を開催していましたが、コロナの影響で、昨年まで会場としていた2か所の施設が利用不可となり、16年ほど続けた講座もあきらめざるを得ませんでした。6月に八千代市民ギャラリーから環境講座の依頼があり、講師、会員数人で話し合いをし、講座依頼を引き受けることにしました。密を避けるため参加人数を10人に限定。当日1人のキャンセルがあり、9人の児童が参加してくれました。ソーラークッカーでの実験は紙コップに水を入れて水温の上昇を測りました。指を入れて確認した子供の一人が「お風呂だったら丁度いい湯加減だねー！」科学実験では、キウイフルーツ・木炭で電気をおこし、豆球を付けたりオルゴールを鳴らしたりに「感激だよ、今日は参加してよかった！」と感想を聞くことが出来ました。長く続けてきた講座が今年で途切れるかと思いましたが、八千代市民ギャラリーの依頼で講座が滞ることなく続けられ嬉しく思っています。

土田 光子

## 語りの会やちよ

現在、語りの会やちよでは、通常の学童保育所、緑が丘図書館、老健施設での定期的なお話会は全て先方の申し出によりお稽古は再開いたしましたが、ボランティア活動は停止中です。そのような中7月26日に八千代市郷土博物館様と話し合い、紙芝居演者はマスク着用、語りの演者には博物館でシールドを作成して下さり、観客数を3分の一に減らし、演者とお客様の間は3メートル以上空けて例年の怖いお話会を開催して市民の皆様喜んで頂けました。今後は三密を避けたお話会を、試験的に15分、マスクとフェイスシールドをつけた状態で開く予定があります。取り敢えず、今の状態を少しでも改善したく、コロナ禍で何が出来るか検討を重ねている所です。

真鍋 よし子





令和2年度の緑が丘ローズハーツふれあいフェスタは、コロナウィルスの影響で、残念ながら5月のステージイベントは中止となりました。しかし、緑が丘ローズハーツふれあいフェスタのコンセプトである、「八千代緑が丘駅周辺に職・住の拠点を持つ人同士が、市の花「バラ」をシンボルにして交流の場を作り、ふれあいの輪(和)を拡げて、親睦を深めるとともに、明るく、健康な街創りを目指す」という趣旨に則り、コロナ禍でも実施できる事業として、今年度は、八千代緑が丘駅北口バラ園のライトアップ事業を実施いたしました。ライトアップのキャッチフレーズは、「あなたの心に灯火を！人の心にライトアップを」としました。5月7日～6月28日の約2か月間、夜7時から約3時間、約60個のLEDが200本のバラを照らしました。広場にはベンチも備え、一時の憩いの場として、休んで頂けるようにしました。5月7日の点灯式には、服部市長も駆けつけて下さいました。ライトアップの期間中、八千代緑が丘駅を行き来する方々も足を止め、バラ広場に立ち寄って下さる方々も少なくありませんでした。

事務局長 小笠原 裕



## やちよマミーステラス

3月に練習場所が利用不可となり、それ以来活動を停止しております。現在は人数制限付きで利用可能となったものの、吹奏楽は大人数・大きな音が出るため窓を開けて練習ができない、といったいわゆる三密を避けられず、また飛沫も飛ぶため感染リスクが懸念され、まだ活動再開に至っておりません。7月開催予定だった自主コンサートを中止、毎年出演していたイベントや幼稚園・施設等への訪問演奏もすべて中止となり、今年度の活動は今のところ何もない状態です。感染状況が落ち着いたら少しずつ練習を再開し、来年開催予定のコンサートに向けての準備をしたいと思っています。その際は健康状態確認や消毒の徹底、定期的な換気、間隔をあけて密接密集を避ける、飛沫防止策を取る、等様々な対策を取りながら感染拡大防止に努めていきます

代表 宮川 篤子

早いもので本年度も半年を経過しようとしています。「日本一の駅前バラ広場の実現」と「日本一のバラ街道の実現」に向けて、コロナにも負けず参加する方がますます増え60名を越える大所帯になりました。

八千代緑が丘駅北口のバラ植栽活動は、地元住民の方々からの支援と、市の理解を得ながら、来年3月末265本の「日本一の駅前バラ広場」が実現する予定です。毎月第3土曜日の活動日は、夏場は少人数にグループ分けするなど工夫をしながら、また除草、水やりは毎週水曜と日曜の2日間4班3名の輪番制で続けております。年間延べ活動人数は昨年を上回る500人を目指しております。おかげさまで5月6月のシーズンには12種7色165本のバラの花が見事に咲きほころびました。5月の連休明けから約2か月は「ローズフェスタ実行委員会」と協力しながらバラのライトアップを行い、地元の皆さんに喜んでいただき、秋には市により9カ所にライトが設置され、秋もライトアップを行う予定です。地元の名所になると期待しております。日本一の八千代バラ街道の整備については、本年7月に市より遊歩道27カ所にバラ植栽91本の「道路占用許可」をいただくことができ、永年の夢である緑が丘駅と京成バラ園との間の遊歩道へのバラ植栽が、数年後の完成を目指し9月よりをスタートいたしました。今後行政(八千代市役所、八千代市環境緑化公社)のご理解と、地元の方々、自治会、地元企業(京成バラ園、東葉高速鉄道など)の理解と協力を得ながら、市と我々の活動との間に、真の「市民協働」が急速に加速するものと信じております。今後、活動を継続し発展させるためには、バラ植栽整備資金の確保が重要な課題です。先般の「市民活動団体支援金制度」では、1000名を超える届出をいただくことができ、バラの苗100本が購入できると一安心しております。併せてあらゆる機会を通じて地域ボランティアの方の参加を呼び掛けてまいります。

問合せ先 事務局長 濱野 俊輔

☎ 070-4131-8134 shunsuke1945920@yahoo.co.jp

### 編集後記

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、市民活動サポートセンターも3月～5月まで閉所を余儀なくされました。6月より開所しましたが市民活動団体の動きが今までと違うことを実感しています。しかし、こうこうと燃える前の火の粉のようにくすぶっているのが、市民活動。これからも支援し続けます。